

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

本市では、現在、協和中学校区における「義務教育学校」の開校に向けた検討を行っています。

そこで、協和中学校区の義務教育学校に関する疑問点と現時点での市の考えをまとめましたので、参考としてご覧ください。

※ 今後、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様や関係者との協議により、内容を更新していきます。

【目次】

1 学校の適正規模・適正配置について	・・・・・・・・ P. 1
2 協和中学校区における適正配置の検討について	・・・・・・・・ P. 2～4
3 新しい学校の教育（ソフト面）について	・・・・・・・・ P. 5～6
4 新しい学校の施設（ハード面）について	・・・・・・・・ P. 7～8
5 新しい学校への通学について	・・・・・・・・ P. 9
6 その他	・・・・・・・・ P. 10
○ 参考資料	
・ 「学校の在り方」協和地区協議会 意見書	・・・・・・・・ P. 11
・ 協和中学校区 保護者アンケート結果（抜粋）	・・・・・・・・ P. 11



協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
1 学校の適正規模・適正配置について		
①	なぜ、学校の適正配置が必要なのでしょう	児童生徒数の減少に伴う学校の小規模化が、子供たちの教育環境にマイナスの影響を与えること（人間関係の固定化、多様な考え方に触れる機会や切磋琢磨する機会の減少、運動会などの学校行事や集団教育活動に制約が生じる等）が懸念されるため、学校の適正配置が必要と考えています。 本市では、平成27年度に「小中一貫教育及び学校の適正規模・適正配置の基本方針」を策定し、学校の適正配置への取組について、「学校の適正規模を下回る学校については、学区の見直しや学校の統廃合を検討し、全ての学校が適正規模となるよう適正配置を目指す」としています。
②	学校の適正規模とは、どのようなことでしょうか？ 筑西市の学校の適正規模を教えてください。	小・中学校では一定の集団規模の確保が望まれることから、国及び県では、標準とする学校の規模を学級数によって設定しています。 本市では平成27年度の「総合教育会議※」で、国や県の取組指針等を踏まえ、次のとおり学校の適正規模の基準を定めています。 ・小学校：クラス替えが可能である各学年2学級以上となる12学級以上 ・中学校：クラス替えが可能で全ての教科の担任が配置できる9学級以上 ※総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で定められた組織で、市長と教育委員会が教育行政について協議・調整を行う会議です。
③	筑西市では、学校の適正配置への取組をどのように進めているのでしょうか？	本市では、今後の学校の在り方について「学校の在り方検討委員会※」に諮問し、その答申に基づいて取組を進めています。これまでの主な答申や取組結果は、次のとおりです。 ・平成27年度 小中一貫教育のモデル校を明野中学校区とすること ・平成28年度 下館北中学校と下館中学校の統合の検討を開始すること【→令和5年4月統合】 明野中学校区で義務教育学校（施設一体型）の設置に向けた検討を開始すること【→令和6年4月開校】 ・令和5年度 協和中学校区で義務教育学校（施設一体型）の設置、又は小学校の統合による学校の適正配置の検討を開始すること 明野中学校区及び協和中学校区以外の中学校区において、学校の適正規模を満たさない小学校については、必要に応じて、学校の適正配置を検討すること ※学校の在り方検討委員会は、教育委員会の附属機関として、市内全体の学校の適正な規模又は配置に関すること等を調査・審議し、教育委員会に報告・具申する組織です。40人以内の委員で、学校や保育施設の教職員、保護者、自治会及び議会の代表者等で構成されています。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
2 協和中学校区における適正配置の検討について		
①	なぜ、協和中学校区で適正配置を検討することになったのでしょうか？	本市では「学校の在り方検討委員会」からの答申を受けて検討した結果、児童生徒数の減少傾向や施設の老朽化状況等を考慮し、協和中学校区で適正配置を検討することとしました。
②	協和中学校区の児童数は、今後、どのくらい減っていくのでしょうか？	令和7年度は3つの小学校の合計で548名が在籍（令和7年5月1日現在）していますが、令和12年度には142名減少し、406名となる見込みです。
③	協和中学校区では、学校の適正配置をどのように検討したのでしょうか？	学校の適正配置の検討は、地域の皆様で十分に話し合ってください必要があることから、令和6年5月に『「学校の在り方」協和地区協議会※』を立ち上げていただき、明野五葉学園への視察を含む計6回、会議を開催していただきました。 グループワークの実施や保護者アンケートの結果を踏まえた協議が行われ、最終的に、協議会として取りまとめた意見書を教育長に提出していただいたところです。【P.11 意見書参照】 ※「学校の在り方」協和地区協議会は、協和中学校区におけるより良い学校の在り方を検討することを目的として、学校や保育施設の保護者、自治会及び関係団体の代表者20名で構成されていました。現在は、協議会を発展的に解消し、「義務教育学校・協和地区準備委員会」の委員として委嘱しています。
④	協議会の意見書に「義務教育学校を設置する方向で検討を進めていくべき、との意見が多数を占めた」とありますが、それは誰の意見なのでしょうか？	この「多数」とは、協議会の会員の意見を指しています。保護者アンケートの結果等を踏まえ、協議会としての最終的な意見を取りまとめた際、20名のうち、「小学校の統合」が5名、「義務教育学校の設置」が12名、「その他（未提出を含む）」が3名となりました。
⑤	協和中学校区は、義務教育学校（施設一体型）を設置する方向性で決まったのでしょうか？	本市では、協議会からの意見書を受けて検討した結果、今後は義務教育学校（施設一体型）を設置する方向性で、「義務教育学校・協和地区準備委員会※」において、より具体的な検討を進めていくこととしました。 なお、最終的な決定は、義務教育学校の開校に関する様々な調整や準備を行った上で、筑西市立学校設置条例を改正する手続きを踏むこととなります。 ※義務教育学校・協和地区準備委員会の役割等については、⑪～⑭を参照ください。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
⑥	令和6年9月に協和中学校区の保護者を対象に実施したアンケートは、どのような結果だったのでしょうか？	令和6年9月17～26日に、いばらき電子申請・届出サービスを利用したWEBアンケートを実施し、協和中学校区の保護者402人から回答が得られました（回答率54.1%）。 「協和地区における学校の適正配置の方向性として、何が適当か？」という質問には、51.0%の人が「義務教育学校（施設一体型）の設置」と回答し、45.5%の人が「小学校の統合（3校→1校）」と回答しました。【P.11 保護者アンケート結果参照】
⑦	施設一体型の義務教育学校とは、どのような学校ですか？ メリットとデメリットを教えてください。	義務教育の9年間を一体的にとらえ、義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して行うことで、系統性・連続性の高い教育を行う学校です。 《一般的なメリット・デメリット》 メリット：「中1ギャップ※」の緩和 教科担任制による専門性の高い授業の実施 教員間の情報共有による継続的な指導 異学年交流による児童生徒の精神的な発達 9年間を見通した柔軟なカリキュラム編成が可能 デメリット：小学校5・6年生のリーダーシップや自主性を養う機会の減少 発達段階に差がある異学年の交流に配慮が必要 ※中1ギャップとは、児童が小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活に適應できず、不登校やいじめなどの問題が増加すること、とされています。
⑧	近年、なぜ義務教育学校が増えてきたのでしょうか？ 義務教育学校の数など、全国的な傾向を教えてください。	教育内容の量的・質的充実や「中1ギャップ」への対応が求められる中、全国的に小中一貫教育が推進されていることが背景にあると考えられます。平成28年以降、義務教育学校の数が増え続けており、令和6年5月1日現在で、全国で238校の義務教育学校が設置（前年比+31校）されています。
⑨	施設一体型の義務教育学校を設置するのではなく、段階的な統合（まずは、小学校の統合）でもよいのではないのでしょうか？	保護者アンケートの結果、半数以上（51.0%）の保護者が「義務教育学校の設置」を選んだことや協議会での協議を踏まえ、市として方向性を決定したところです。 なお、ご意見のように、小学校の統合を望む意見も少なからずあることから、今後、義務教育学校の特徴や具体的な整備の方針等を説明し、全体の合意形成を図っていきたいと考えています。
⑩	すでに明野五葉学園が開校していますが、成果や問題点は検証したのでしょうか？	義務教育学校の開校により、どのような成果が得られたのか、明野五葉学園の成果や問題点を検証することは大変重要なことと考えます。 しかし、教育の成果は、開校後すぐに得られるとは限らないため、令和6～8年度の3年間で児童生徒、保護者及び教職員へのアンケートを実施し、令和8年度末までにその結果を検証する予定としています。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
⑪	「義務教育学校・協和地区準備委員会」とは、どのような組織ですか？ どういったメンバーがいるのでしょうか？	教育委員会の附属機関として、協和地区における義務教育学校の開校に関すること等について調査・審議し、教育委員会に報告・具申する組織です。 「学校の在り方」協和地区協議会に保育施設等の保護者・教職員を加えた50人以内の委員で、自治会・保護者・各種関係団体の代表者及び教職員で構成されています。 なお、準備委員会では、幹事会の他に個別具体的な内容を検討する「専門部会」を設置し、義務教育学校開校のために必要な準備を進めていきます。
⑫	準備委員会の「専門部会」は、どのような検討をするのでしょうか？	準備委員会では、3つの専門部会を設置し、主に次の項目を検討していきます。 ・総務部会 学校名、校章（校旗）、校歌 ・PTA部会 通学の方法（スクールバス）、通学路、制服 ・学校運営部会 学校運営方針、開校記念事業
⑬	準備委員会の検討では、現場の先生方の意見を聴く機会はあるのでしょうか？	準備委員会の委員には、協和地区小中学校の校長及び教頭を委嘱しています。総務部会及びPTA部会において、他の委員の皆様と一緒に検討していただき、学校運営部会において、学校運営方針等を検討していただきます。
⑭	準備委員会の委員ではない一般の保護者は、準備委員会の検討状況をどうやって知るのでしょうか？	今後、準備委員会の検討状況については、「協和地区準備委員会だより」を配布（年1～2回）し、広く周知する予定です。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
3 新しい学校の教育（ソフト面）について		
①	新しい学校は、どのような学校を目指し、どういった教育が行われるのでしょうか？	本市教育の基本目標である「確かな学力の習得と豊かな人間性を育む教育の充実」を目指しつつ、施設一体型のメリットを活かし、9年間を通した連続性・系統性のある教育を行います。 なお、具体的な教育内容については、今後、準備委員会（学校運営部会）で検討していきます。
②	学校行事は、どのようになるのでしょうか？ どの行事が全学年参加になるのでしょうか？ （入学式・卒業式・運動会など）	新しい学校の行事内容や参加学年については、今後、他市町村や明野五葉学園を参考にしながら、準備委員会（学校運営部会）で具体的に検討していきます。
③	1年生と9年生では発達段階に相当の差がありますが、異学年間の交流はどのように行われるのでしょうか？	1～9年生の交流にあたっては、施設一体型のメリットを活かしつつ、双方に良い効果が生まれるよう適切な交流を図る必要があります。学校内での具体的な交流については、今後、準備委員会（学校運営部会）で具体的に検討していきます。
④	グラウンドは児童と生徒で分かれて使用するのでしょうか？	明野五葉学園では明確にルール化していませんが、主に休み時間を児童が、放課後の部活動で生徒がグラウンドを使用しています。グラウンドの使用をルール化するかどうかは、今後、準備委員会（学校運営部会）で具体的に検討していきます。
⑤	6年生の卒業式はどうなるのでしょうか？	明野五葉学園では、6年次の修了時に、保護者参加の「前期課程修了証書授与式」を実施しており、新しい学校でも同様の行事の実施を検討していきます。
⑥	7年生から私立の中学校等に進学する場合は、どのようになるのでしょうか？	6年次までの学習が修了したことを証する修了証書を授与します。進学後の学校では、中学1年次の学習から学ぶこととなります。
⑦	教育課程の区分は、従来の6・3制（小学1～6年生と中学1～3年生）となるのでしょうか？ それとも、1年～9年生となるのでしょうか？	義務教育学校では、現在の中学1～3年生を7～9年生とし、全体が1～9年生となります。学年制の区分（従来の6・3制とするか）については、今後、各学校及び教育委員会で検討していきます。
⑧	明野五葉学園とは違った教育課程の区分（5・4制等）は検討しないのでしょうか？	義務教育学校の特徴の一つとして、義務教育期間9年間の学年制の区分を柔軟（5・4制、4・3・2制など）に設定できることが挙げられます。施設一体型のメリットを活かしつつ、市内小中学校との均衡や教職員の勤務形態など、様々な条件を考慮して、慎重に検討していきます。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
⑨	部活動は何年生から始まるのでしょうか？	市内中学校との均衡を考慮し、明野五葉学園と同様に、7年生からの部活動開始を想定しています。
⑩	学校名や校章は変わるのでしょうか？	新しい学校となるため、新しい学校名と校章になります。具体的には、今後、準備委員会（総務部会）で検討していきます。
⑪	校歌は変わるのでしょうか？	新しい学校となるため、新しい校歌になります。 明野五葉学園では、明野中学校の校歌に『中学校』という歌詞がなく、明野五葉学園の校歌としても適していたことから、そのまま明野五葉学園の校歌としましたが、現在の協和中学校の校歌に「中学校」という歌詞があるため、新しい学校の校歌としての使用は難しいと考えています。 具体的には、今後、準備委員会（総務部会）で検討していきます。
⑫	校長は1人になるのでしょうか？	義務教育学校では、校長は1人となりますが、明野五葉学園では、校長を補佐する職として副校長1人が配置されています。新しい学校においても、同様の人事配置となることが考えられます。
⑬	中学校の制服は変わるのでしょうか？ 制服は、何年生から着るのでしょうか？ 私服での通学は可能なのでしょうか？	現時点では、新しい学校の制服をどうするか、決まっていません。制服の必要性や現在の制服に対する憧れや愛着、保護者の皆様の負担等を考慮しながら、制服着用の有無を含めて、準備委員会（PTA部会）で検討していきます。
⑭	新しい学校では、制服を性別に関係なく自由に選択することができるのでしょうか？（例：女子のスラックス着用）	近年、様々な分野で性的マイノリティへの配慮が求められています。 仮に、制服を着用することとした場合は、性的マイノリティに対しても十分に配慮し、検討します。 なお、明野五葉学園では、男女共に、スカート・スラックス・ネクタイ・リボンの中から選択可能としています。
⑮	制服に関して保護者だけではなく、児童生徒の意見も取り入れる予定でしょうか？	制服に関して児童生徒の意見を取り入れるか、についても、今後、準備委員会（PTA部会）で検討していきます。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
4 新しい学校の施設（ハード面）について		
①	新しい学校は、いつ開校するのでしょうか？	令和12年4月の開校を目指しています。
②	新しい学校の建設場所（位置）は、どこになるのでしょうか？	現在の協和中学校の敷地に、新しい学校として整備する計画です。
③	現在の協和中学校の施設の他に、どのような施設が建てられるのでしょうか？ どのようなコンセプトで、建設されるのでしょうか？	1～6年生が使用する新たな校舎、体育館及び遊具等の設置を想定した計画としています。施設整備の基本方針を次のとおり定め、今後の設計業務において詳細を検討していきます。 (1) 小中一貫教育に適した機能的でコンパクトな施設 (2) 誰もが明るく快適に過ごせる施設 (3) 確かな学力を育む施設 (4) 安全・安心で維持管理のしやすい施設 (5) 将来の公共施設複合化を見据えた施設
④	現在の協和中学校だけで、敷地の大きさは十分といえるのでしょうか？新しい校舎や体育館、遊具等が設置されることで、今の中学校のグラウンドが狭くなりませんか？	現在の協和中学校敷地内で、新設校舎等の配置やスクールバスの乗降スペースを考慮した場合、一部、敷地拡張の検討が必要と考えています。敷地の拡張を計画し、グラウンドへの影響を最小限に抑え、全体的に新設校舎等の配置を検討します。
⑤	校舎等の施設は、今後の児童数の減少を考慮して、無駄のないようにすべきではないでしょうか？	協和中学校区の児童生徒数は、令和12年度以降も減少傾向が続くことが想定されるため、新しい学校の施設整備にあたっては、「小中一貫教育に適した機能的でコンパクトな施設」及び「将来の公共施設複合化を見据えた施設」を基本方針として、無駄のない施設整備に努めます。
⑥	現在の協和中学校の校舎も改修するのでしょうか？	新しい学校として一体的な施設とするため、現在の協和中学校の校舎を含め、小中一貫教育に適した教室の配置や教室の一部共有化を検討します。 なお、具体的には、今後の設計業務において詳細を検討していきます。
⑦	1～6年生の児童が、現在の協和中学校の施設（特別教室等）を利用するのは難しいと思いますが、どのようにするのでしょうか？	現在の協和中学校の特別教室について、授業での稼働率を踏まえ、備品等での対応が可能な場合は、共有化による児童の利用を検討します。なお、具体的には、今後の設計業務において詳細を検討していきます。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
⑧	新しい校舎等の建設工事中は、（特に、受験を控えた中学3年生が、）普通に、授業を受けられるのでしょうか？	新しい校舎等の建設工事では、工事中に学校生活を送る生徒にも最大限配慮し、建設業者と協力し、できる限り騒音の小さい工事の実施に努めます。
⑨	施設一体型の義務教育学校となることで、周辺の住民の方にご迷惑はかからないのでしょうか？	スクールバスの運行により周辺道路の渋滞等が発生しないよう、バスの運行ルートを検討するとともに、雨天時の保護者送迎のルール化についても検討する予定です。
⑩	明野五葉学園周辺の道路拡幅工事は、時間がかかっているように感じますが、協和中学校周辺の道路も拡幅するなら早めに着手した方がよいのではないのでしょうか？	明野五葉学園周辺道路は県道のため、市及び地元自治会が交差点改良の要望書を県に提出し、事業が進められています。協和中学校周辺の道路については、スクールバスの運行ルートを検討した上で、開校後の交通状況等を予測し、道路の拡幅等が必要か、慎重に検討します。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
5 新しい学校への通学について		
①	スクールバスは、誰が利用できるのでしょうか？ 中学生もスクールバスを利用できるのでしょうか？	スクールバスは、統合によって遠距離通学となる児童の通学支援として運行し、学校から一定の距離に設置する乗降所まで行くことができれば、誰でも利用できることとする予定です。ただし、1～6年生の児童を対象とし、7～9年生の生徒は、従来どおり自転車での通学を基本とします。
②	スクールバスは、具体的にどのように運行するのでしょうか？	1～6年生の児童を対象にスクールバスの利用申請を受け付け、バスの大きさや台数を決定した上で、バスの運行業務をバス会社に委託します。 現時点では、どこにバスの乗降所を設定し、どのようなルートで学校に向かうか、決まっていません。今後、準備委員会（PTA部会）において検討していきます。
③	スクールバスの乗降所は、どこの乗降所を利用してもよいのでしょうか？	自宅から乗降所まで、徒歩による通学を想定していますが、基本的にはどこの乗降所を利用してもよいこととする予定です。
④	スクールバスの導入にあたり、置き去り等の安全対策はどのように行っていくのでしょうか？	現在、明野五葉学園で導入しているスクールバス乗降確認システム（QRコードによる読取システム）により、保護者や学校でも児童のバス乗り降りの状況がわかるシステムの導入を計画しています。
⑤	スクールバスの利用は有料でしょうか？ 利用料はいくらになるのでしょうか？	本市では、受益者負担の原則に基づき、スクールバスを利用する児童の保護者から負担金を徴収しています。登下校でバスを利用する場合は、児童1人当たり月額2,000円、登校又は下校のみで利用する場合は月額1,000円とし、兄弟姉妹がいる場合は、2人目を半額、3人目以降を無料としています。
⑥	学校へ登下校する際の通学班は、どうなるのでしょうか？	明野五葉学園では、それまでの小学校へ通っていた通学班を基本とし、保護者同士の話し合いにより通学班を決定していただきました。新しい学校の通学班については、今後、準備委員会（PTA部会）で具体的に検討していきます。
⑦	雨の日など、学校へ子供を送迎する場合、子供を乗降りさせるスペースはあるのでしょうか？	保護者の送迎スペースについては、全体の施設の配置を含め、今後の具体的な設計業務の中で検討していきます。

協和中学校区の義務教育学校に関するQ & A

令和7年6月 初版

番号	疑問点等	回 答
6 その他		
①	各小学校（古里小、新治小及び小栗小）の跡地は、どうなるのでしょうか？	学校の跡地については、市民共有の貴重な財産であることから、全市的かつ中・長期的な視野に立った利活用を検討します。 なお、学校用地として土地をお借りしている場合は、原則として所有者への返還を優先します。
②	現在、各小学校（新治小及び古里小）で行われている放課後児童クラブは、どうなりますか？	小学校の跡地利用を踏まえ、各小学校（新治小及び古里小）の放課後児童クラブを利用している保護者のニーズや運営主体の意向を把握したうえで検討していきます。
③	明野五葉学園のように、敷地内に放課後児童クラブができるのでしょうか？	今後、協和地区における放課後児童クラブのニーズを把握したうえで、様々な可能性を含めて総合的に検討していきます。
④	P T A活動はどうなるのでしょうか？ 保護者の負担は、増えるのでしょうか？	P T Aは、教職員と保護者が組織する任意の社会教育団体であるため、教育委員会として具体的な活動内容について回答できません。 なお、明野五葉学園では、明野地区小中学校の教職員とP T A役員の皆様が協議し、その中で適切な運営方針や活動計画を準備していただきました。同様に、協和地区小中学校でも開校に向けた準備を行っていただく必要があると考えます。
⑤	教育後援会費のような寄付金集めはなくなるのでしょうか？	教育後援会は、子供たちの健やかな成長を願い、地域で組織される任意の団体です。教育後援会費の集金の件については、教育委員会として団体の活動を把握していないため、回答できません。
⑥	スクールバスの運行によって、子ども会の減少が懸念されますが、どのような対応を考えていますか？	単位子ども会の減少につきましては、スクールバスの運行に関わらず、児童数の減少等により、市内全域の課題となっています。今後、お住まいの地域の子ども会が休止した場合でも、本人の希望により様々な体験学習やイベントに参加できるよう、筑西市子ども会育成連合会と連携し、検討してまいります。



令和6年11月1日

筑西市教育委員会
教育長 大森 達也 様

「学校の在り方」協和地区協議会
会長 増 渕 俊 夫

協和中学校区における学校の在り方について（意見書）

本協議会では、「学校の在り方検討委員会」の答申に基づき、本年5月から協和中学校区における学校の在り方を協議してきました。

その結果、「協和中学校の敷地に施設一体型の義務教育学校を設置する方向」で検討を進めていくべき、との意見が多数を占めました。

つきましては、これまでの協議の中で挙げた義務教育学校の設置に係る疑問点や課題を精査の上、より具体的な検討を進めていただくよう、下記の附帯意見を添えて意見書を提出します。

なお、協和中学校区の小学校を新治小学校へ統合すべき、との意見も少なからずあったことから、今後の検討にあたっては、保護者や地域住民への十分な周知や説明をお願いします。

記

1 附帯意見

- ・ より多くの保護者や地域住民の意見を聴くとともに検討状況の情報発信を図り、地域の合意形成に努めること。
- ・ 早急な学校の統合を望む声があることから、できる限り早期に具体的な検討を開始すること。
- ・ さらなる児童生徒数の減少が見込まれる中で、多大な予算をかけて施設を整備することに疑問を持つ声があることから、施設の共有化を図りつつ、将来的な児童生徒数を見据えた施設を整備すること。
- ・ 校舎や遊具の設置によって運動場が狭くなることを懸念する声があることから、敷地の拡張を含め、施設の配置を十分に検討すること。
- ・ 協和中学校周辺の道路状況により通学時の危険性を心配する声があることから、スクールバスの運行経路や通学路を十分に検討し、児童生徒の安全を確保すること。
- ・ 児童生徒間のトラブルを心配する声があることから、教員間の連携を密にし、義務教育学校のメリットを活かした適切な交流を図ること。また、前期過程の高学年に対しては自立と自覚を得る機会の創出に努めること。

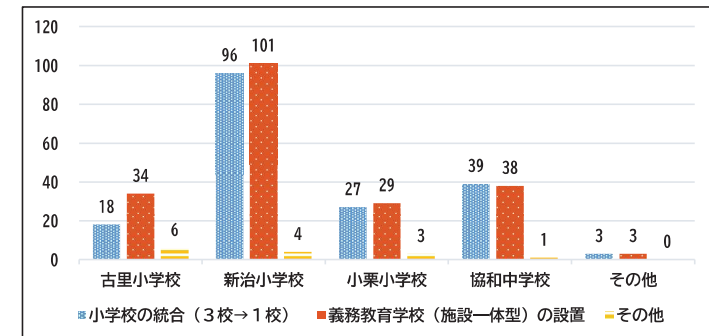
【問3】協和地区における学校の適正配置の方向性として、何が適当だと思いますか。

（回答数：402 世帯）

【全体】



【内訳・学校別】※学校別は、Q1、2で回答した最年少のお子さんの学校で集計



【内訳・学年別】※学年別は、Q1、2で回答した最年少のお子さんの学年で集計

